



2022年11月29日 神戸国際大学キリスト教センター通信 第73号

「寒いから、温かい」「暗いから、明るい」

神戸国際大学オルガニスト ミリアム 伊藤純子

このところ急に冷え込んできました。冷え切った屋外で飲むホット飲料のありがたいこと。思えば数か月前の暑い盛りの頃は、ここまで身に沁みませんでした。寒い中だからこそ、温かさをしみじみ味わえます。

11月8日の皆既月食が始まった途端、それまで全く見えていなかった星がたくさん目に入ってきました。月の明かりが消えたことによって、星の光が目立つようになったためでしょう。月が明るい間も星は存在していましたが、月の明るさのために星の存在に気付けない状態でした。

同じようなことを六甲山でも体験しました。空高く満点の星空が輝いており、その輝きを見ようと目を上げましたが、すぐ近くの街灯の光が強すぎました。そこで手をかざして街灯の光を少しさえぎったところ、星の光だけが目に入り、その輝きはそれ以前より格段に増していました。

同じ明るさの光でも、暗い中にある場合と明るい中にある場合とでは、輝きが変わって見え、明るい中ではその存在にすら気付かないこともあるものです。

キリスト教ではクリスマス、つまり「イエス・キリストの誕生」を「暗闇の中の光」と捉えています。つまり、暗く重く八方ふさがりの混沌とした世の中を「暗闇」と捉え、その暗闇の中にこそ「イエス・キリストの誕生」という希望の光が強く大きく輝いた、ということです。

生きてると色々なことがあります。重苦しさ、不安、辛さ、絶望…。そういった暗闇の中に居る時こそ、ふとした光に気付かされ、明るさと温かさを実感することがあります。それは絶好調のときには感じるこのできないものだと思います。

これは大げさなことではなく、日常的にあることではないでしょうか。落ち込んだ時、後悔や失敗、失望をしたとき、ほんの小さな光に、どれだけ助けられるかわかりません。周りの人の何気ない一言に温かさを感じて、涙ぐむようなこともあります。

毎日の暮らしの中で、その小さな光の存在となれるようにと、ひとりひとりがほんの少し心がけることによって、その人の周りには驚くほど温かくなることでしょう。イエス・キリストの「光」のようにには到底できませんが、各自が少しずつ意識すること、それこそが、クリスマスのメッセージなのではないかと感じています。



一口メモ

クリスマスを待ち望むシーズンである「アドヴェント」Adventの聖歌の中に聖歌69番「もろびとこぞりて」があります。この聖歌の3節の歌詞に、暗闇の光を表す表現があります。

♪この世の闇路を 照らしたもう
たえなる光の 主は来ませり
主は来ませり 主は主は来ませり♪



音色はこちら <https://youtu.be/cX9rDJHHAZg>



ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

